

# プラトン理想国の現在



[プラトン理想国の現在 下载链接1](#)

著者:納富信留

出版者:慶應義塾大学出版会

出版时间:2012-7

装帧:

isbn:9784766419481

「理想」とは何か？ プラトン主著に挑む。  
ユートピア論最大の著作『ポリテイア』は、  
理想の国家建設を目指す近代日本の魂を揺さぶった。  
やがて、全体主義のイデオロギーに利用されてゆく

運命を辿った問題作の核心に触れる、野心的な一冊。

「理性と欲望をめぐる冷徹な現実認識と、その背後にある  
人間本性への信頼。楽観主義と悲観主義が交錯する  
プラトンの「理想国」論を読むことは、私たち自身が  
哲学のぎりぎりの営みを共有することなのである。

二一世紀の日本に生きる私たちは、果たしてプラトンの  
挑戦に応えることができるのか。」

（第Ⅰ部「現在の鏡としてのポリテイア」より）

作者介绍:

目録: 第1部  
現在の鏡としての『ポリテイア』（『ポリテイア』の正義論；理想国論批判の再考；  
「哲人王ホメイニー」）；第2部  
『ポリテイア』を読んだ日本の過去（新しい日本語のプラトン；明治から大正へのプ  
ラトン；戦前から戦後へのプラトン；「理想国」への挑戦と挫折）；第3部  
私たちが語る未来の「ポリテイア」（「ポリテイア」とは何か？；「天上に掲げられ  
たポリス」；「理想」を書く／読むこと）  
．．．．．[\(收起\)](#)

[プラトン理想国の現在\\_ダウンロード1](#)

标签

柏拉图

日本

思想史

评论

在回家的火车上读完了，主要看的第2部，果然像作者说的，在欧美以外地区能以日本这样的程度翻译柏拉图全集的真不多见，这与德国哲学对近代日本思想界的巨大影响不无关系；第1部“哲人王霍梅尼”的着眼点有些意思。很想知道藤泽令夫参观过70年代的中国后是怎样的想法。

-----  
[プラトン理想国の現在\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[プラトン理想国の現在\\_ダウンロード1](#)